



「新しい防災訓練を考える」

全国高校生社会イノベーション選手権
一次審査課題の取り組み方の例

Step1 自分の地域の災害を知る



防災訓練の目的を考えるために、まずは自分の暮らす地域にどのような災害が起こりうるのか、を理解しましょう。

1. 【個人】自分の地域で起こりうる災害は何かを調べましょう。

ヒント

- ✓ 「ハザードマップ」を見る：自分の暮らす地域にどのようなリスクが潜んでいるのかを知ったり、新しい危険性が発見できたりできるかもしれません。
- ✓ 自分が今まで経験してきた災害を思い出す：自分が体験してきた経験から学びを得るのは大変有意義なステップです。どんな小さい災害でも思い出してみてもどのように備えればよいかのヒントを探りましょう。
- ✓ 身の回りの人の体験談を聞く：身の回りに災害を経験された方がいたらその人の話を聞いてみましょう。新しい発見が多いはずですよ。

2. 【グループ】調べた内容をグループで共有します。対策が必要だと思う災害は何かを話し合い、一つに絞ってまとめましょう。

Step2 防災訓練の課題を考える



これまでに経験した防災訓練を元に防災訓練の課題を洗い出し、分析しましょう。

1. 【個人】 今まで自分が経験してきた防災訓練を一つ思い浮かべ、良いと思ったこと、改善すべきだと思ったことを書きだしましょう。（参加していない場合はなぜ参加しなかったのかを考えましょう。）

ヒント

- ✓ もう一度防災訓練を自分たちでやってみると思いもしない気付きがあるかもしれません。

2. 【グループ】 意見をグループで共有し、防災訓練の課題を洗い出しましょう。重要な課題については、なぜそれが起こるのかを分析しましょう。

ヒント

- ✓ 共通して出てきた意見は必要な要素である可能性が高いです。
- ✓ 一方で、他のメンバーの出した、自分では思いつかなかったような新しい意見も選択肢の一つに入ります。

Step3 新しい防災訓練を考える



具体的に新しい防災訓練を考案します。柔軟な発想で、自分がやってみたいと思う防災訓練を考えてみましょう。

1. 【個人】 Step1,2で考えたことを踏まえて、新しい防災訓練のアイデアを考えてみましょう。

ヒント

- ✓ 具体的に災害を想定しましょう。
- ✓ 防災訓練の常識にとらわれずに自由に考えてみましょう。例えば、学校でやっている防災訓練について考える場合、必ずしも学校の中だけで完結する内容でなくても構いません。

2. 【グループ】 各自が考えた案を発表しましょう。出た案の中から選ぶ、または複数の案を組み合わせるなどしてグループとしてアイデアを一つに絞りましょう。

Step4 具体化する



グループとして一つの案を選んだら、最後はその案を磨く段階です。グループのメンバーで意見を出し合い、より魅力的な防災訓練へと仕上げましょう。

1. 【グループ】選んだアイデアをより具体的にしていきましょう。

ヒント

- ✓ いつ、誰が、どこで、どのように行うのかを考えましょう。
- ✓ 考えたアイデアと今までの防災訓練の違いを考えましょう。
- ✓ 考えたアイデアは防災の効果があるのかを考えましょう。

アイデア発想のヒント



課題を解決するアイデアを考える時に、「同じような課題が解決された身の回りの事例」を参考にすると考えやすいかもしれません。

例

課題：防災訓練は意味を感じられない

身の回りの事例：今までに意味を感じられた授業は先生の雑談が面白い

↓

アイデア：誘導する人が災害のウンチクを常に話しながら誘導する防災訓練

個人用ワークシート

- 以下に準備したワークシートは個人ワークを行う際に活用してください。
- もちろん、ワークシートを使わずに考えても構いません。



災害の名称：

名前

- どのような被害が考えられるか
- 誰が特に被害を受けるのか
- 特に危ない場所はどこか
- どのような状況で起こると危ないか

経験した防災訓練：

名前

- それはどのような防災訓練でしたか？

いつ：

どこで：

どのような手順で：

- その防災訓練における良い点・悪い点を思い出してみましよう。

良かった点、勉強になった点、ためになった点 等	良くなかった点、参加しなかった理由 等

提出物の例

- 上のステップで進めた場合に提出する提出物の例です。
- あくまで一例ですので、他のプロセスで考えたチームは自分たちの考え方に沿ったものを提出してください。



対策が必要だと思う災害

説明：

防災訓練の課題とその分析

良かった点、勉強になった点、ためになった点 等	良くなかった点、参加しなかった理由 等

防災訓練の課題とその分析：

アイデア

説明：